

下店静市 しづみ 美術史學者。明治二十二年一月十六日奈良縣吉野郡
 大塔村生れ、昭和四十九年六月二十六日歿（一九〇一七五）。大正八年立
 命館大學卒。爾來東洋美術史研究に専心。昭和八年朝鮮美術史跡を調
 査。京都市立美術大學、大阪市立大學、同志社大學等に出講。
 著書に『溪仙八十一話』（編、大正十四年十一月一日改造社）、『寫
 初僧正』（昭和二年九月十五日アルス・アル・ス美術叢書）、『東洋
 畫の見方と技法』（昭和十八年四月一日大阪・巖々堂『巖々選書』）、
 『海繪と大和繪』（昭和十九年三月十五日大阪・巖々堂）、『大和繪』
 （京都市編、昭和二十一年八月一日京都・高桐書院『京都叢書』）、
 『古美術ノ一ト』（昭和二十二年二月五日京都・永田文昌堂『東山叢
 書』）、『美術隨筆』（昭和二十二年八月一日京都・河原書店）、
 『大和路を行く』（昭和二十二年一月一日京都・芸艸堂出版部）、
 『日本繪畫史研究』（昭和二十二年六月十五日富山房）、『大和繪史
 一繪卷物史』（昭和二十一年十一月二十五日富山房）、『下店静市先
 生遺文集』（昭和五十六年六月一日滋賀・比較文化史學會編刊）
 等。

